

令和8年度 教 育 計 画 西条市立楠河小学校						学校番号 54	
校長名	横井 直美	学級数	9 (3)	児 童 生徒数	77	教職員数	14



重点目標	基本理念:ともに作り、みんなが育つ楽しい学校づくり 1 自己肯定感を高め、豊かな心を育む教育の推進(助け合う子) (1) 一人一人の居場所があり、「自己存在感」のある楽しい学校・学級づくり 【挨拶・返事・感謝・朝活】 (2) 互いのよさを見つけ、伝え合う「自己有用感」を高める活動の推進【プラスの言葉】 (3) 感性を磨き、心を耕す文化芸術・読書活動の充実【読み聞かせ・読書・本物に出会う】 (4) 支持的風土の確立と縦割り班活動の充実【フラワー班活動】 (5) 学校を愛し、心を磨く清掃活動の推進【愛校心】 2 「子ども真ん中」の授業革新と確かな学力の定着(よく考え行動する子) (1) 「分かった!できた!分からない!教えて!」が響く、子ども主体の授業創造【学び合い学習】 (2) 互いの考えを認め合い、深め合う「対話的な学び」の充実【対話・コミュニケーション】 (3) 基礎・基本の徹底による「学ぶ自信」の育成【ノート鑑定団・漢字検定・計算検定・ICT】 3 自分を愛し、たくましく生きる身体の育成(がんばりぬく子) (1) 基本的な生活習慣の定着と、心身のバランスを整える教育【食育・運動・睡眠】 (2) 仲間と励まし合い、目標に向かう体力づくりの推進【楠河チャレンジ】 (3) 自他の命を大切にする健康・安全意識と実践力の向上【安全・防災】 4 社会総がかりで、ふるさと楠河を愛する子どもを育てる学校づくり (1) 子どもを真ん中に、地域・家庭・学校が愛でつながるコミュニティ・スクールの進化【CS】 (2) 地域の人・もの・ことの「本物」に触れ、ふるさとを愛する心の醸成【カブトガニ・永納山】 (3) 持続可能な未来を創る、主体的な担い手としてのESD教育の推進 【「総合的な学習の時間」の充実】 (4) 「学校の今」を伝え、信頼と協力を生む積極的な情報発信【HP 日々更新・学級通信等】
管理運営	1 人的管理 (1) 教職員の強み(個性)を認め合う、ぬくもりのある職場づくり【プラスの言葉・対話】 (2) 教職員の資質向上と、信頼されるサービスの厳守【ワーク・ライフ・バランス】 (3) 「報・連・相」と「見届け・確認」を大切にした協働体制の確立【チーム楠河】 (4) 地域・家庭と連携・協働による開かれた学校支援体制の確立【CSの進化・深化】 2 物的管理 (1) 子どもの感性を磨き、自己肯定感を育む温かな教育環境の整備 (2) かけがえのない命を守り抜く環境の整備と、迅速な危機管理と防災体制の強化 (3) 学校施設・学校設備・学校備品等の活用と維持管理 3 事務管理 (1) 「子どもと向き合う時間」を生み出す、校務分掌の適正化と事務処理の効率化 (2) 個人情報の厳正な管理と透明性のある適正な経理事務の徹底 (3) 未来志向の学校経営を支える、ICTを活用したスマートな事務システムの構築
本校教育の特色	本校は、旧河原津村と旧楠村を校区にもつ歴史のある学校である。河原津地域にはカブトガニの繁殖地である河原津海岸があり、楠地域には世田山の中世山城跡や国指定史跡の永納山山城跡がある。学校周辺には田園地帯が広がり、豊かな自然と人情味あふれる社会環境に恵まれている。 このような環境の下、体験活動や交流活動を積極的に取り入れ、地域、保護者、関係諸機関と協力・連携・協働しながら教育活動を推進している。